Rd リサイクルデザイン Recycle Design
RECYCLE Design
2025 WINTER
横浜の資源リサイクルを自治会・町内会の皆さんと共に！ No.302

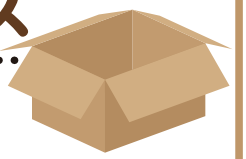
段ボールの出し方クイズ あなたは全問正解できますか？

ここ数年、家庭から出される古紙の中で段ボールが占める率が急増しています。これはインターネット通販の市場拡大で商品発送に使われる段ボールの消費量が増加したことが原因と言われています。段ボールは市場に流通する量の9割以上が回収されており、リサイクル資源として広く浸透している一方で、家庭から出る量と種類が増えたことで、正しい分別と出し方の理解が追いつかず、間違った方法で出しているケースが少なくありません。回収業者によると、特に横浜市は近隣都市と比べて間違えた出し方をしていることが多いそうです。

段ボールの出し方の基本は簡単ですが、状態や種類、状況など細かいところまで考えていくと、どう出せばよいのか迷う場合もあります。そこで、少しマニアックな内容も加えた○×クイズを作ってみました。回収業者によっては、○×の判断が異なるケースもあるかもしれません。全問正解は難しくても、8割(15問中12問)の正解ができるくらいに段ボールの分別を理解していただけたらと思います。

段ボールの正しい出し方

段ボールの出し方クイズ



以下の文の段ボールの出し方が正しいか、間違っているかを○× でお答えください。

①段ボールはサイズ別に分けてから出す。

②かなり強く雨が降っている日でも段ボールを出すことができる。

③運びやすいように大きい段ボールに他の段ボールを詰めて出す。

④枚数が多いときは重ねて粘着テープでしっかりと止めれば出してよい。

⑤1枚だけで出すことはできないので、数量を溜めてから出す。

⑥段ボール箱の封をしていた粘着テープはいちいちはがす必要はない。

⑦段ボールに付いてしまった油汚れは気にせずにそのまま出してよい。

⑧段ボール箱を閉じていた金属の留め具はいちいち外す必要はない。

⑨放置して変色したものやカビが生えた段ボールでも出すことができる。

⑩工作でべったりと色を塗ったり、テープがたくさん付いていても出してよい。

⑪内側にフィルムが貼ってある段ボールはそのまま出してよい。

⑫段ボール1枚ならば、ひもで縛っても縛らなくてもよい。

⑬段ボール、厚紙、画用紙などの厚手の紙は一緒に出してよい。

⑭ティッシュボックスは段ボールとして出してはいけない。

⑮50cm以内の小さな段ボールは紙袋に入れて出す。

クイズの正解は、問題の奇数番号が「×」、偶数番号が「○」となります。

横浜市に隣接する７都市のごみと資源物の分別はどうなっているのか?

横浜市のごみと資源物の分別は10品目16種類あり、他の自治体よりも分別の種類が多いように見えますが、全国市町村の中では平均的な分別数です。では、横浜市に隣接する他の都市の分別はどのようになっているでしょうか。横浜市と比較しながら、分別の種類や取り組みの違いなどについて紹介します。

隣接する７都市の分別状況

横浜市に隣接する７都市のごみと資源物の分別は下の表のようになっています。７都市は、神奈川県内が６都市、東京都が１都市で、人口は川崎市の約156万人から逗子市の約５万人と都市の規模には幅があります。

横浜市のごみと資源物の分別は他の都市よりも種類が多くて面倒であるという声をよく聞きますが、下の表を見ると決して飛び抜けて種類が多いというわけではありません。日本最大の人口を抱える横浜市や第６位の川崎市など、100万人を超える大都市では、分別の種類が少ないほうが回収車両や人員の手当などを含めて、回収の効率が高くなり、CO_2排出量の削減にもつながります。一方で、資源物をできるだけ細かく分別して回収することができれば、回収後の分別工程が少なくなり、品質や資源化率を高めることができます。分別の種類や回収方法は、都市の規模や出される資源物の量などのバランスをとりながら施策されているのです。

■横浜市と近隣都市のごみと資源物の分別一覧

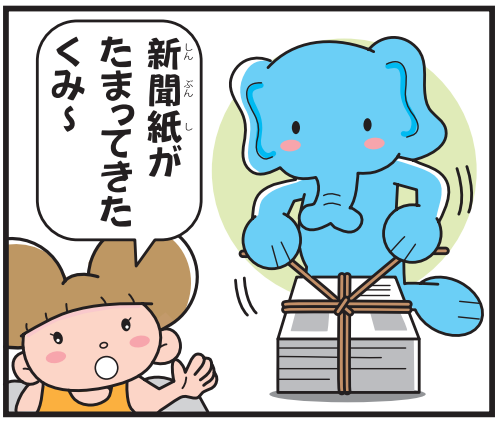
	横浜市	川崎市	藤沢市	町田市	横須賀市
	約377万人	約156万人	約 44 万人	約 43 万人	約37万人
資源集団回収	新聞 雑誌・その他の紙 段ボール 紙パック 古布 アルミ缶・スチール缶	新聞 雑誌・本 段ボール 牛乳パック 布類 リターナルびん	新聞 段ボール・折込広告 飲料用紙パック 古布類	新聞 ダンボール 雑がみ 紙パック 古着 アルミ缶 スチール缶 カレット（ワンウェイビン） リターナルビン	新聞紙 雑誌類 段ボール 紙パック その他の紙 缶以外の金属 古着・古布類 蛍光管類
分別種類と品目	缶・びん・ペットボトル プラスチック資源 スプレー缶 小さな金属類 乾電池 粗大ごみ 燃やすごみ 燃えないごみ	ミックスペーパー 空き缶・ペットボトル 空きびん プラスチック製容器包装 使用済み乾電池 小物金属 普通ごみ 粗大ごみ	本・雑がみ ビン カン・なべ類 ペットボトル プラスチック製容器包装 商品プラスチック 大型商品プラスチック 特定処理品目（電池、蛍光管など） 可燃ごみ 不燃ごみ 紙おむつ 剪定枝 草葉・枝 廃食用油 大型ごみ・特別大型ごみ	新聞 雑誌・雑がみ 雑誌・本 雑がみ シュレッダーにかけた紙 紙パック 古着 ビン・カン・スプレー缶 有害ごみ ペットボトル・発砲トレイ・紙パック 粗大ごみ 燃やせるごみ 燃やせないごみ インクカートリッジ 小型家電 充電式小型家電 携帯電話 剪定枝	缶・びん・ペットボトル （スプレー缶・カセット式ガスボ を含む） プラスチック資源 粗大ごみ・破砕できないご 燃やせるごみ 不燃ごみ
特徴	●2025年12月から小型充電式電池（リチウムイオン電池等）の収集を開始 ●PCやスマートフォンで利用可能なごみ分別検索システム「ミクショナリー」、「イーオのごみ分別案内」あり ●市公式LINEでも分別の検索が可能	●2026年4月から全市でプラスチック資源を回収予定 ●携帯電話で利用できる「川崎市ごみ分別アプリ」あり ●市公式LINEでも分別の検索が可能	●2025年4月から一部地域で資源物の戸別収集を試験導入 ●携帯電話用のゴミ分別アプリ、PC用のごみ検索システムあり ●市公式LINEでも分別の検索が可能	●2026年4月から全市で容器包装プラスチックの回収を開始 ●11言語対応のiPhone、タブレット用アプリ「ゴミ分別アプリ」あり	●スマートフォン、タブレッ 用アプリ「さんあ～る」あ ●市公式LINEでも分別 検索が可能

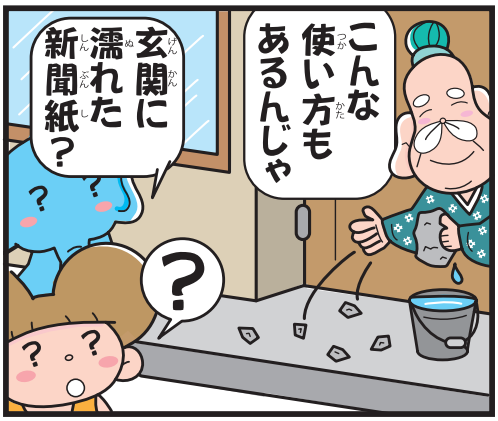
各都市の分別と回収の特徴

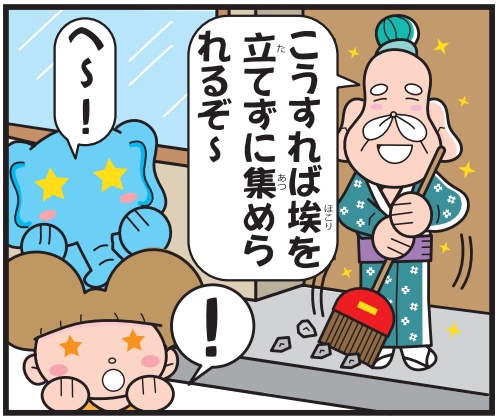
各都市の分別と回収の特徴について、いくつかご紹介します。横浜市は、CO_2排出削減に力を入れており、2025年4月から焼却時のCO_2発生が多いプラスチック製品をプラスチック製容器包装と合わせて、「プラスチック資源」として分別回収しています。また、発煙発火事故の原因となるリチウムイオン電池の収集を2025年12月からスタートしました。川崎市は2026年4月から全市で「プラスチック資源」の回収を始める予定です。藤沢市では、2007年から可燃ごみと不燃ごみの戸別収集を実施しており、2025年4月からは資源物を含む全品目の戸別収集を一部地域で試験導入しています。高齢者の負担を軽減するとともに、収集場所を管理する自治会・町内会の負担を軽減する取り組みです。町田市は、2026年4月から全市で「プラスチック製容器包装」の回収を開始。同市のごみ分別アプリは、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、タガログ語などを含む11言語に対応しています。横須賀市でもスマートフォン、タブレット用のごみ分別アプリ「さんあ～る」のほか、市の公式LINEでも分別検索が可能です。大和市と鎌倉市では資源集団回収が導入されていませんが、市の回収拠点で収集しています。逗子市は、鎌倉市、葉山町と連携して、生ごみを「生ごみ」と「生ごみ以外の燃やすごみ」に分けて回収し、生ごみの資源化、焼却量の減量する施策を進めています。

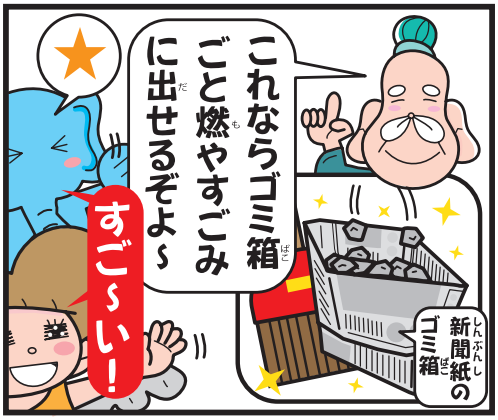
横浜市資源リサイクル事業協同組合作成

	大和市	鎌倉市	逗子市
	約 24 万人	約 17 万人	約 5 万人
	※資源集団回収は未実施	※資源集団回収は未実施	新聞 雑誌 段ボール 飲料用紙パック ミックスペーパー 布類 アルミ缶 スチール缶 家庭金物
	A資源 新聞・折込チラシ 段ボール 雑誌・本・その他の紙 布類 B資源 紙パック 紙製容器包装 空き缶・金物類 空きびん類 ペットボトル 白色トレイ 容器包装プラ 燃やせるごみ 燃やせないごみ 粗大ごみ	紙類 ミックスペーパー 新聞紙 雑誌・古本 ボール紙・クラフト紙 紙パック 段ボール 布類 飲食用カン・ビン ペットボトル 容器包装プラスチック 製品プラスチック 危険・有害ごみ 使用済み食用油 植木剪定材 粗大ごみ 燃やすごみ 燃えないごみ	ペットボトル 容器包装プラスチック あきびん 小型家電 紙おむつ 危険有害ごみ 草・葉 植木ごみ 燃やすごみ 不燃ごみ 粗大ごみ
	●資源集団回収は行われていないが、市内約1,300か所のリサイクルステーション及び駅・公共施設での拠点回収を実施	●資源集団回収は行われていないが、収集日にクリーンステーションでの回収を実施 ●市公式ライン「鎌倉ごみ調べ」で分別支援を実施	●スマートフォン用分別アプリ「さんあ～る」あり









RD NEWS 2025 Winter No. 302
横浜市SDGs認証制度 Y-SDGs – standard –
YOKOHAMA 横浜型地域貢献企業最上位認定取得

「SDGs未来都市・環境絵日記展2025」を開催しました！

11月30日(日) 12時より、横浜市役所1階アトリウムにて『SDGs未来都市・環境絵日記展2025』を開催しました。今年度もブースエリアにて出展者の皆様がそれぞれ環境、未来のための情報発信やワークショップを開催。明治学院大学の学生たちによる「みらいをつくろう！エコ万博」やナカノ(株)の「リサイクルぬいぐるみくじ！」などのイベントが行われました。

今年度は市内の小学生より3,371作品の応募があり、その中から環境絵日記大賞を受賞したのが、横浜市立本郷小学校6年 髙橋美桜さんの「未来の子供達にもセミの声を。」です。

この絵日記は「地球温暖化によりセミが絶滅しかけていて、セミの声が聞こえなくなったのは地球が助けを求めているサインかも」と私たちの生活や将来の生存に係わる問題提起から始まります。そして、「セミが生き続ける環境を作るために物を無駄にしない、電気を消すなどSDGsを楽しもう。セミたちが命を懸けて自然界から耳を澄ますことの大切さを教えてくれている」と環境問題への1つの解決案が描かれた素晴らしい作品です。

表彰式では、これらの素晴らしい優秀特別賞全28作品を発表・表彰しました。今年も山中竹春横浜市長が出席し、横浜市長賞と市長奨励賞を受賞した計11名の子どもたちへ賞状を授与しました。

他都市からの応募では、高知県の他、米国サンディエゴ市、モンゴル国ウランバートル市から応募がありました。ステージイベント「環境絵日記トーク」では、横浜市と高知県をオンラインで繋ぎ、横浜市と高知県の環境絵日記大賞受賞者、昨年初めて「逗子SDGs絵日記」を開催した逗子市の大賞受賞者とで意見交換を行いました。

そのほか、RD賞を受賞した317作品、高知県の環境絵日記で大賞、優秀特別賞、部門賞を受賞した15作品、サンディエゴ市の12作品、ウランバートル市の15作品を11月30日(日)から1週間展示し、多くの方にご覧いただきました。作品はリサイクル組合ホームページの「Web展示場」からも見ることができますので「環境絵日記」で検索してください。ご来場者ならびに協力いただいた関係各所の皆様、誠にありがとうございました。

協賛企業 (順不同・敬称略)

主 催
- 横浜市資源リサイクル事業協同組合

共 催
- 横浜市

後 援
- 神奈川新聞社 ●FMヨコハマ ●tvk
- (株)タウンニュース社

協 賛

【企業賞】●(株)エックス都市研究所 ●ヒロセ電機(株) ●(株)アブソルート ●(株)ハイマックス ●特定非営利活動法人 横浜市集団回収推進部会 ●(株)小俣組 ●横浜グリーン購入ネットワーク ●生活協同組合ユーコープかながわ県本部 ●(株)横浜スタジアム ●(株)GRACE ●日産自動車(株) ●(株)安藤建設 ●(株)栄港建設 ●(株)a・とも総合保険サービス ●大西金属(株)

【地域企業賞】●(株)三木組 ●(株)ダイイチ

【作品集サポーター】●(株)オフィス・アルファ ●コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株) ●(有)工藤紙業 ●(株)富士紙業 ●ナカノ(株) ●(有)マルニ商店

【一般サポーター】●横浜資源化協議会 ●ウォンツ(株) ●タカナシ乳業(株) ●タテバ(株) ●(株)エフオージー ●協同組合厚木市資源再生センター ●ガラスびん3R促進協議会 ●南関東日野自動車(株) ●東洋ガラス(株) ●(株)東京エンジニアリング ●日本キャタピラー合同会社 ●青木石油商事(株) ●(株)オカムラ ●(株)大塚商会 ●神奈川県リサイクル産業団体連合会 ●藤沢市資源循環協同組合 ●(株)山陽紙業 ●宗村 隆寛 ●横浜アルコ(株) ●(有)田村商工 ●(有)大興資源 ●遠藤商店 ●影島興産(株)

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます。
https://www.recycledesign.or.jp/rd/

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

リサイクルデザインの発行予定	2026年春号：3月25日	2026年夏号：6月25日	2026年秋号：9月25日	2026年冬号：12月25日

リサイクルデザイン
2025年冬号 通巻302号 2025年12月25日発行 発行人：栗原清則 編集人：藤本達也 印刷：株式会社市瀬 発行部数：44,500部
発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合 〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地 TEL：045(444)2531／FAX：045(444)2532
本誌は古紙70%の再生紙と環境にやさしい植物油インキ「VEGETABLE INK」を使用しています。